

令和8年度 第2回 二俣小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月30日（木） 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 二俣小学校 旧パソコン室
- 3 出席委員 坪井 理佐雄、太田 佳子、野中 庸孝、島 和義、今村 春幸、
松本 美貴子、鎌田 文子、
- 4 欠席委員 袴田 国博
- 5 オブザーバー 磯部指導主事（学校地域連携課） 飯田 一明（二俣ふれあいC所長）
- 6 学 校 内山 佳乃（校長）、平野 将太郎（教頭）、清瀧 妙子（CSディレクター）
教職員（17名）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 清瀧 妙子
- 9 会議記録 7名出席1名欠席 会議成立。 議長 坪井委員
- 10 会長挨拶 自然災害の怖さの中で、復興への気力を高めるのはなかなか難しい、子供たちにはその力を付けさせなければならない。学校運営協議会も迷いながら5年目を迎えた。子供たちによいものを残すために、先生方と協力していきたい。教育委員会・オブザーバーの参加に感謝。
- 11 校長挨拶 1学期も無事に終了。いろいろな活動で地域の方々の支援をいただき感謝している。協議会と先生方の話し合いは本校では初めて。いろいろな意見を出し合い、今後の二俣小の目指す姿を探りたい。

12 グループ熟議

3グループに別れて、二つのテーマについて話し合われた

Aグループ 船木・和田・森内・沙希・千徳・坪井・鎌田・中谷
Bグループ 絢美・品川・坂田・外山・長谷川・太田・松本・野中
Cグループ 小粥・高林・伊藤・辰巳・古木・島・袴田・今村・飯田

テーマ①『二俣小学校の強み・弱み』

強み・弱みを付箋に書き出し、シートに貼りながら意見交換をした。

テーマ②『学校と教師の業務の3分類』

分類の中の学校以外が担うべき業務などを優先順位をつけて話し合った。

13 グループ熟議報告（テーマ①を中心に報告）

Aグループ（発表者：森内）

- ＜強み＞ 子供たちが元気。祭りや運動など行事に熱く取り組む。
職員の雰囲気がよく何でも相談しやすい。
エアコンが装備されてて快適。
浜松市内9校しかないことばの教室（通級指導教室）がある。
自然が多く学ぶ材料が多い。子供たちの誇りになっている。
町探検等地域のボランティアが多く、地元の祭りも参加率高い。
- ＜弱み＞ 切り替えが苦手な子が多い。
単級クラスが増え、教員数が少なくなっている。
トイレ等が古く、水漏れなど修理が多い。
学習ボランティア募集の呼び掛け方に工夫が必要。

Bグループ（発表者：品川）

- ＜強み＞ 子供たちが明るく・素直・子供らしい。
行事に力を入れている。クラスで協力し合う姿が見られる。
エアコンが設備されていて快適。
グラウンドの水はけがよいので使いやすい。
空き教室が多いので工夫して使える。
歴史ある伝統校、親子で二俣が好き。
町全体で子供たちを見守っている
自然の学び・歴史的偉人が多く、学べる素材がある。
- ＜弱み＞ 校舎が古い。運動場は広いが誰でも侵入できてしまう危険性がある。
勉強が苦手。校門で挨拶できても校内ではできない。
少子化問題が進んでいる。
自然が豊かだからこそ災害発生時、土砂崩れや河川の増水等が心配。
バス通学の児童の見守りが難しい。

Cグループ（発表者：袴田）

- ＜強み＞ 子供たちが活発。
職員のチームワークがよい。教員一人一人の指導力が高い。
グラウンドが早く乾くので体育活動等、活用しやすい。
空き教室が使える。
地域の方々が学校への理解がある。
保護者の懇談会参加率が高い。
- ＜弱み＞ 切り替えが遅い。学習への意欲が低い。
天竜川で学区が分断されているため災害時、安否の確認が心配。
学力不足をあまり問題視していない。
自然豊かで歴史があり商店街がよい人のつながりをつくっている反面、
入れ替えが少ない故に関係が狭くなっている。

指導助言

先生方と委員との懇談は今年度30校参加した中でも4校のみ。工夫した話し合いが進められていて、技を使った熟議（技）だった。委員と教職員で学校の強みや弱みを共有できたことの意義が高いと感じた。（磯部指導主事）

15 その他の連絡事項

次回開催 ・令和8年11月13日（金） 10時00分から11時30分